

ユーラ WE8-CAS ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。

また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. クラリスフィルター / カルシウム除去

ボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐため、専用浄水フィルターの使用、または定期的なカルシウム除去作業が必要です。
フィルターまたはカルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきマシンの表示に従いお手入れを行ってください。

3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレット「カフェラ・ウォッシュ」による洗浄を毎日行ってください。
毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は専用のものを販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。



ユーラ・WE8 コントラストアロマスペシャル Jura WE8-CAS 取扱いマニュアル



ユーラ
コントラストアロマスペシャル
ユーザーサポート
WE8-CAS



ユーラ
コントラストアロマスペシャル
ユーザーサポート
トップページ



該当機種のページを
選択してください

- | | | | |
|------|--------------------------------------|---------|----------------|
| p.01 | : ご使用に際して | p.08 | : 設定変更・挽目調整 |
| p.02 | : 安全にお使いになるために | | 粉コーヒーの抽出 |
| p.03 | : 製品保証書 | p.09 | : マシン洗浄 |
| p.04 | : 各部名称 | p.10 | : ミルク洗浄 |
| p.05 | : セットアップ / 水の硬度設定
フィルター / CA 除去選択 | p.11 | : フィルター交換 |
| p.06 | : メニューの抽出 | p.12 | : CA 除去 |
| p.07 | : 日常のメンテナンス
(良くある表示と対処方法) | p.13 | : トラブルシューティング |
| | | p.14-15 | : WE8-CAS 機能一覧 |

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

△ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

△ 注意：コンセントについて

●コンセントは、100V(ボルト)で機械一台あたり15A(アンペア)以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。

テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

△ 注意：電源プラグ／コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。

お客様が独自に修理をしないでください。

△ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

△ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています。**

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。

アース線は次の場所に接続しないでください。

①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口

アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると**火傷や感電により死に至る**恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

△ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

△ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

△ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

△ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

△ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的に下記の点検を必ず行ってください。

- ①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
- ②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
- ③アース線が正しく接続されていますか。

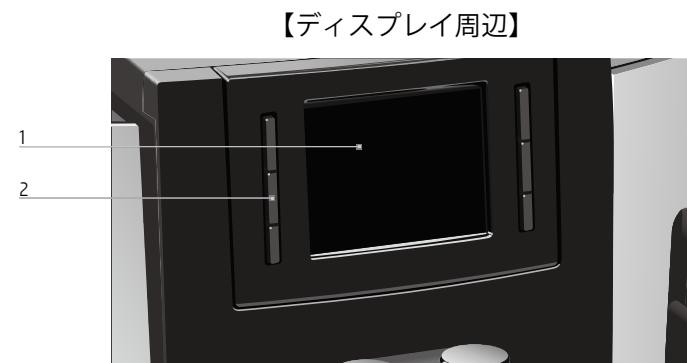
△ 注意：通電について

●夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。

△ 注意：設置環境について

●周辺温度が30°C以上になる場所でのご使用はおやめ下さい。

▶各部名称



【抽出メニュー】

コーヒー	マキアート	・コーヒー
エスプレッソ	カフェラテ	・コーヒー 2杯取（ボタン2度押し）
P.M.		・エスプレッソ

フラットホワイト	ミルク	・フラットホワイト
リスト	熱湯	・リストレット
P.M.		・リストレット 2杯取（ボタン2度押し）

↑ プログラム・リンスボタン
(各種お手入れ、設定画面へ)

↑ 次画面・進行ボタン

【同梱品】

給湯ノズル	フローサー抽出口先端部スペア
クラリスフィルター	硬度試験紙
ミルクチューブ用ニップル	変換プラグ

▶セットアップ/水の硬度設定・フィルター /CA 除去選択

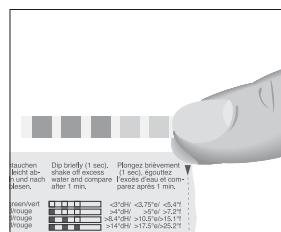
前提条件

- ※20A 以上のマシン専用回路から本機専用のコンセントに接続してください。延長タップ等は使用できません。
- ※電源ケーブルに損傷または欠陥がある場合は絶対に使用せず、販売店へご連絡下さい。致命的な危険のある感電の可能性があります。
- ※耐水性があり水平・平滑・頑丈な場所に設置して下さい。
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保して下さい。(変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります)
- ※布や食器で換気口を覆わないで下さい。

水の硬度を調べる

はじめに、本機で実際にご使用される水の硬度を調べておきます。

- 同梱の硬度試験紙 AquadurR を水道からの流水に約 1 秒さらした後、水を振り払い、約 1 分間待ちます。
 - AquadurR 試験紙のグリーンの印刷色が硬度によってベージュに変色して行きます。下の表に照らし合わせて、お使いの水道水の硬度をご確認ください。
 - 出荷時は日本の平均 dH に設定してあります。異なる結果が出た場合はのちほど「P.15 (5/6) 水の硬度」を参照し、実際の値を設定しなおしてください。
- ※マシンの耐久性を維持するための大変な設定です。



【硬度目安】

1-5° dH	■ ■ ■ ■ ■
6-10° dH	■ ■ ■ ■ ■
11-15° dH	■ ■ ■ ■ ■
16-20° dH	■ ■ ■ ■ ■
25-30° dH	■ ■ ■ ■ ■

【結果】

①豆ケースに豆を入れる

アロマ保存カバーを取り外します。
豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

ご注意

- ※冷蔵庫・冷凍庫で保管している豆は常温に戻してご使用ください。
- ※添加剤（例えば糖やフレーバー）で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。豆コンテナには無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
- ※豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意下さい。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

②水タンクに水を入れる

水タンクカバーを開きます。
水タンクを取り外して、水ですすいでください。
新鮮な水をタンクに満たし、再度本体にセットし、
水タンクカバーを閉じます。

ご注意

- ※発泡水やミネラルウォーター、お湯などはマシン本体に損傷を与えることなく設定した味を保てなくなります。必ず毎日汲み直した新鮮な水をご使用ください。
- ※水タンクはセットする際に、タンク下にコーヒー豆などの異物が落ちていないか確認します。またセットする際は本体にまっすぐ差し込みます。

③電源を入れる

抽出口の下に排水受を置きます。
マシン上部の電源オン / オフボタンを押します。
「ご利用ありがとうございます」「加熱しています」「マシンをすぎます」(抽出口から少量のお湯が出ます。)
メニュー画面が現れ抽出可能になります。

④フィルター /CA 除去選択

本機専用浄軟水器「クラリスフィルター」を使用するかどうかを選択します。

【フィルター選択→手順⑤フィルターのセットへ】:

- Jura コーヒーマシン専用浄軟水フィルター。
- 時間のかかる CA 除去作業が不要になります。
- 交換表示が出たら、または最長 2 ヶ月毎に要交換。

【CA 除去選択→手順⑥ミルクの用意へ】:

- ランニングコストを抑えます。
- 表示が出たら CA 除去作業（約 40 分）が必要です。

※はじめに調べた水の硬度が 1-5dH と異なる場合はここで「P. 15 (5/6) 水の硬度」を参照し実際の値を設定しなおします。

⑤フィルターのセット

- 水タンクを本体から外し、水を空にします。
- Welcome Pack 内のクラリスフィルターを開封、下部にセロファンがある場合は取り外します。
- 水タンク上部グレーのおさえ板を引き上げ、フィルターをまっすぐ差し込み、おさえ板を下ろします。
- 抽出口の下に排水受けを用意します。
- 水タンクに水を満たし本体に戻します。
- 自動的にフィルターのすすぎが始まります。メニュー画面に戻り、画面中央下部にフィルターのマークが表示されればセット完了です。

保護セロファン



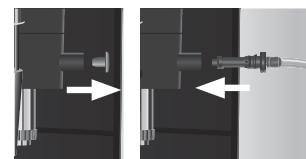
※クラリスフィルターは定期的に交換が必要です
(→p11 フィルター交換にて方法や適応フィルターをご確認ください)

⑥ミルクの用意

フローサーの保護用キャップを取り外し、ミルクチューブを接続します。もう一方の先端をミルクに差し入れます。

ご注意

- 成分無調整の牛乳を使用してください。ロングライフ・ローファットは自詰まりの原因となります。



▶メニューの抽出

※陶器のカップをご使用の場合は必ずカップをよく温めてから抽出をしてください

前提条件

メニュー画面が表示されている。
P.05 を参照し、水、豆、ミルクの用意ができる。
使用するカップ、グラスを用意し、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。

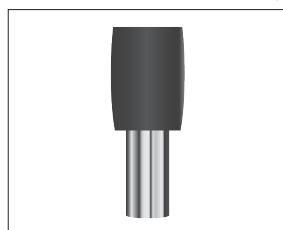
コーヒー、エスプレッソ、リストレットは中央の抽出口から提供されます。



ミルクを使用したメニューと熱湯は右側の抽出口から提供されます。



熱湯の抽出をする場合はファインフォームフローサー下部のパイプを Welcome Pack 内同梱の給湯ノズルに付け替えます。

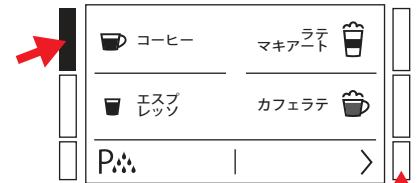


ご注意

最後の抽出から時間が経過すると自動的に省エネモードに入り、次の抽出時にメニューボタンを押すと「加熱しています」となることがあります。そのままお待ち下さい。加熱終了後メニューを抽出します。

◆コーヒーの抽出

抽出したいコーヒーメニューのボタンを押して下さい。
例：コーヒーの抽出



めあてのメニューがないときはここから次画面へ

抽出中左下に表示される「キャンセル」ボタンを押すと抽出を途中でとめることができます。(全メニュー共通)

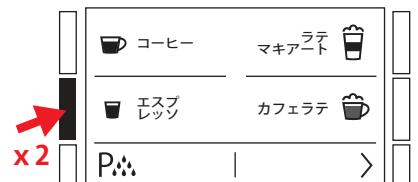
※ショートコーヒーの温度低下を防ぐため、50cc 以下のメニューは抽出前に「コーヒーすぎ」を 2 回行います。
【P ボタン→2 ページ目→コーヒーすぎ ×2 回】
(前回の抽出から 5 分以内、あるいは続けて抽出されている場合は不要です。)

※現在抽出中のメニューに限り一時的にコーヒーの濃度や抽出量を変えることができます。
→P14 (3/6) 「抽出中の量変更」の項を参照ください

◆2杯取コーヒーの抽出

2杯取できるメニュー：コーヒー、エスプレッソ、リストレット
2つのカップを抽出口の下に並べて2杯取したいコーヒーメニューのボタンを続けて2回押して下さい。(1秒以内)

例：エスプレッソ 2杯取



※1杯取と2杯取の味を揃える→P14 (3/6) 「エキスパートモード」
→「コーヒーの濃度」の項を参照下さい

※2杯取をロックする→P14 (3/6) 「ロック有効」の項を参照下さい

◆ミルクメニューの抽出

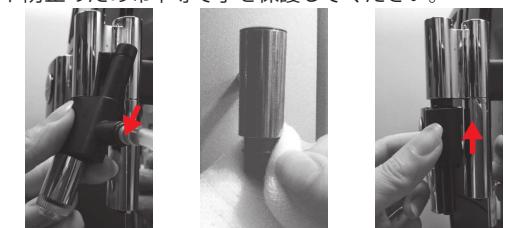
カップを右側抽出口の下に置き、めあてのミルクメニューのボタンを押して下さい。
ミルク→コーヒーの順に抽出されます。
例：フラットホワイトの抽出



※ミルクメニュー抽出から 10 分経過後に「ミルクすぎすぎ」を行います。自動か手動(表示後ミルクすぎすぎボタンを押す)を選択できます。
P14, 4/6 : ミルクすぎすぎ→手動 / 自動の項を参照ください

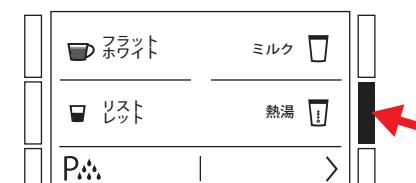
◆熱湯の抽出

ファインフォームフローサーを給湯ノズルに付け替えます。
※ヤケド防止のため布巾等で手を保護してください。



フローサーゴム部分を手前に折るようにして取り外し、本体側に残ったミルク分を清潔なキッチンペーパー等できれいに拭き取ってから給湯ノズルを取り付けます。

カップを右側抽出口の下に置き、熱湯のボタンを押します。



各種メニューの量設定・味の変更は P.08 設定変更および
P.14 (3/6) 「エキスパートモード」の項を参照ください

▶日常のメンテナンス オペレーション中に良くでる表示とその対処方法、ご注意いただきたいこと

jura

※1日1回行うので
通常は表示されません。

フィルターマークが赤く点灯
→P11 フィルター交換

ミルクシステムすすぎ

フローサーの下に排水受を置き
リンスボタン  を押します
※P15→4/6 ミルクすすぎ

豆容器に豆を入れてください

容器の豆が不足しています。
豆容器のカバーを開けコーヒー豆を補充します（水気厳禁）
※豆を入れても次にグラインディングするまでこの表示は消えません。
※メニュー抽出中にこの表示が出た場合、豆の補充後再度メニューボタンを
押してください。

水タンクに水を入れてください

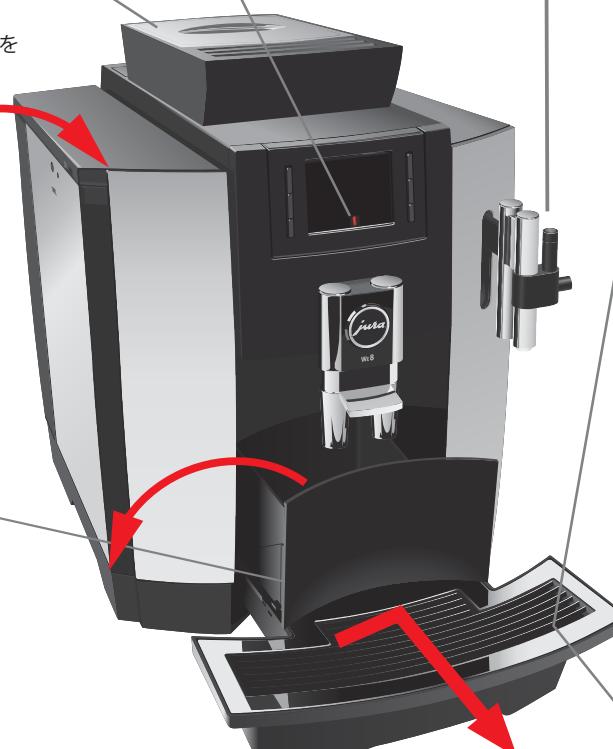
フタを開けて水タンクを取り外し、よくすすいでから新鮮な水で満たし本体に戻してください。
※水タンクがまっすぐセットされているか、タンクと本体の間に豆などの異物が挟まっているか確認してください。
※水タンクは終業時によく洗い毎日新鮮な水に取り換えます。

カス容器を空にしてください

排水トレイをひきだし、カス容器にたまつたコーヒーカスを捨ててください。
※カス捨ては電源がONの状態で行います。
※トレイ及びカス容器を本体に戻すまで10秒以上間をあけてください。
電源OFF時のカス捨てや、トレイを戻すのが早すぎるとカウンターがリセットされません。

適温に下がるまでお待ちください

※熱湯ボタンでお湯を抽出してください（約50ml）
(この時は給湯ノズルへの交換は不要です)



マシンを洗浄してください

→P09 マシン洗浄

CA除去をしてください

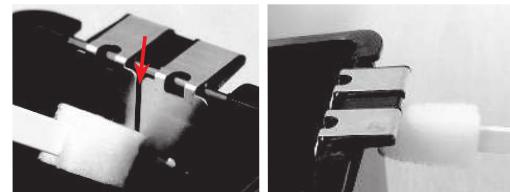
→P12 CA除去

排水トレイを空にしてください

排水トレイを手前に引きだし、中にたまつた排水を捨て本体に戻します。

※空にしてもこの表示が出る場合はトレイ奥金属製電極裏側の汚れによる検知不良です。下図を参照して洗浄し、水気をよく拭き取ってから本体に戻します。

接点電極を中性洗剤を使用して洗います。特に金属と金属のすき間を重点的に、ブラシのようなもので洗います。（裏側も）



乾いた布で水気を完全に拭きとり（裏側も）本体に戻して下さい



※排水を捨てる際はこの電極に水分がかからないようにします。
また、日頃よりこの電極部分を中性洗剤でよく洗いましょう。

排水トレイを挿入してください

排水トレイを本体に戻します。

※本体にセットしているのにこの表示が出る場合は部品が欠損している可能性があります。販売店にご連絡ください。

▶設定変更・挽目調整・粉コーヒーの抽出

◆メニュー設定変更

お好みに合わせて各ボタンのメニュー設定を変更することができます。変更方法には2種類あります。

【エキスパートモード】

Pボタン→3/6→エキスパートモード→
設定変更したいメニュー ボタンを押す

各メニューの抽出量、温度、ミルクの量などを数値で指定していきます。設定可能な範囲は P14(3/6)「エキスパートモード」の項をご参照ください。
※実際に抽出される量は設定値よりもやや少なくなります。

【抽出量の手動調節】

お使いになっているカップのサイズにあわせて抽出量を変更することができます

カップを置きメニュー ボタンを2秒以上長押し→

抽出開始：

「ご希望の量になりましたらボタンを押してください」

希望の量になったところで再度ボタンを押して抽出量決定。
詳細は P14 (3/6) 抽出量の手動調節の項をご参照ください。

※設定された内容を後からエキスパートモードで確認・変更することができます。

※設定される方の見た目判断となるため、チェーン店様等複数店舗で確実に設定を揃えたい場合はエキスパートモードをお勧めします。

重要

※約2秒の長押しで設定変更可能な状態になるため、セルフサービススタイル等でお客様が誤って設定変更してしまわないようロックをかける事ができます。

P14 (3/6) 抽出量の手動調節→非アクティブ

◆挽目(グラインダー)の調整

お使いの豆やお好みに合わせて挽目を調整することができます。挽目ダイヤルは右に回すと挽目が細かく、左に回すと粗く調整されます。コーヒー豆の種類や焙煎度によって最適な挽目は異なります。コーヒーが抽出出口より途切れなく出る状態が焙煎と挽目があつてあるひとつの目安となります。

ご注意

※調整は必ずグラインダーが回転している間に行います。回転していない状態で調整を行うと部品が破損する恐れがあります。
※一度設定した挽目は次に調整をするまで固定です。メニューによって挽目を変えるという設定はできませんので、一番よくお飲みになるメニューで調整することをお勧めします。



①マシンに水と豆がセットされている事を確認し、抽出口の下にカップをセットします。

②挽目ダイヤルカバーを開けます。

③メニュー ボタンを押し挽目ダイヤルを回します。設定量のコーヒーが抽出されます。これまでの挽きが残っている可能性があるため1杯目は捨て、2杯目に試飲し、味、クレマの量、色目などを確認します。ご希望の味になるまでこの作業を繰り返します。

◆粉コーヒーの抽出

ご注意

※中細挽きの粉をご利用下さい。挽き目の細かすぎる粉を使用すると自詰まりをおこしコーヒーがドリップトレイに流れでてしまいます。
※粉コーヒーの抽出は都度粉を投入します。粉をためておく事はできません。
※インスタントコーヒーはご使用になれません。

①Welcome Pack 内の計量スプーン(すりきり約8g)を用意し、コーヒー粉投入口のフタをあけます。
→「コーヒー粉を入れてください」



②計量スプーンでお好みの量(上限2杯まで)の粉を入れ、フタを閉じます。

③エスプレッソ、コーヒー、リストレット、いずれかのメニュー ボタンを押します。

④それぞれのメニューに設定されている量のコーヒーが抽出されます。

※粉コーヒー充填後1分以内に抽出ボタンを押してください。それを過ぎるとリセットされ充填した粉が廃棄されます。

※充填量が不十分な場合「コーヒー粉が足りません」と表示されます。粉を追加して手順を続けてください。

►マシン洗浄(コーヒーラインの洗浄)

毎日必須



約 20 分

jura



汚れによるトラブル・故障を防ぐ為、終業後に毎日必ずマシン洗浄を行ってください。

「マシンを洗浄してください」と表示が出た場合も同じ手順で洗浄を行ってください。

※マシン洗浄はおよそ 20 分かかります。

※マシン洗浄は中断しないでください。

洗剤分が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。
※CA除去の表示が出ているとマシン洗浄ができません。

先に CA 除去作業 (P12) を終えてからマシン洗浄を行って下さい。

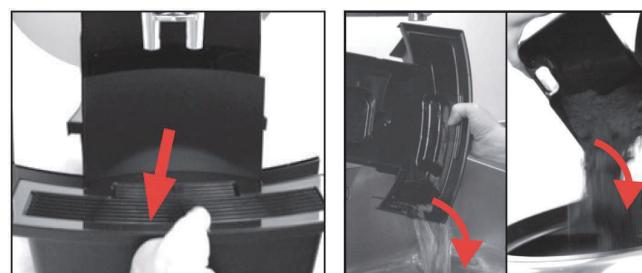
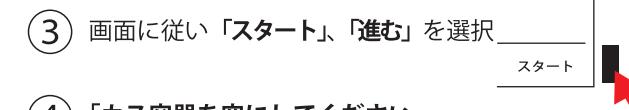
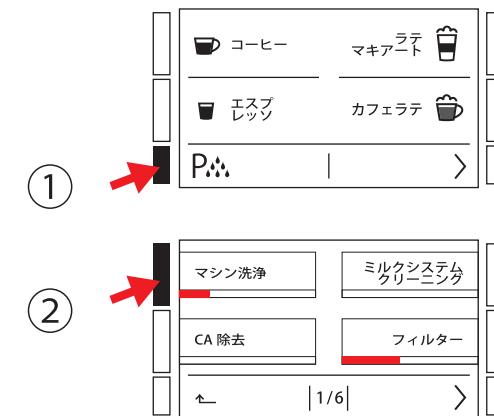
※洗浄タブレット・カフェラウォッシュはマシン販売店からご購入ください。

ご注意

※販売店指定のカフェラウォッシュ (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると保証が受けられません。
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

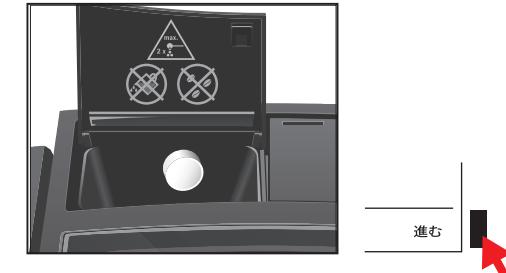
手順



⑤ 排水受を図のようご用意ください。

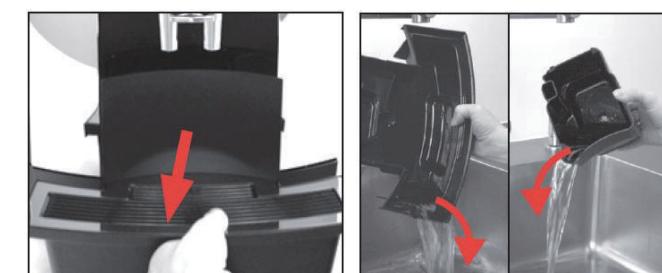


⑥ 「洗浄剤を入れてください」
洗浄タブレットを投入しフタを閉じます。



⑦ 「マシン洗浄中」(約 10 分)
左右の抽出口から洗浄のお湯が排出されます。
※ヤケドにご注意ください

⑧ 「カス容器を空にしてください」
排水トレイとカス容器にたまつた排水を捨て、中性洗剤できれいに洗い、水分を拭き取り本体に戻します。
※ヤケドにご注意ください



⑨ 「クリーニングが終了しました」

【ミルクメニュー不使用の場合】
電源を切り水タンクをよく洗って水分を拭き取り、本体に戻して終了です。

【ミルクメニュー使用の場合】
続けて次頁のミルク洗浄を行います。

►ミルクシステムクリーニング(ミルク洗浄)

毎日必須

約2分

jura

必要なもの



ミルクメニューを抽出した場合、
食品衛生の見地から、ミルクシステムのクリーニング
(ミルク洗浄) を必ず毎日行なってください。
(洗浄を促すサインは出ません)

※ミルクシステムクリーニングはおよそ2分かかります。
※ミルクシステムクリーニングは中断しないでください。
※専用洗剤はマシン販売店からご購入ください。

ご注意

※販売店指定のミルクライン用洗剤（安全データシートあり）を
ご使用ください。指定以外のものを使用すると洗剤成分がす
ぎきれない可能性やマシンが破損する恐れがあり、保証を受
けられません。
※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみ
や破損の原因となります。
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保
護メガネの着用をおすすめします。

手順

- ① フローサーからミルクチューブ
を取り外して中性洗剤で洗い
元の位置に再度取り付けます。



- ④ 画面に従い「スタート」、「進む」を選択

- ⑤ 「ミルク用洗浄剤」
専用コンテナの前側部分に液体洗剤ラテ・ウォッシュ
12.5mlを入れ上部の線まで水またはぬるま湯を加えて
(約250ml) 洗浄液を作ります。



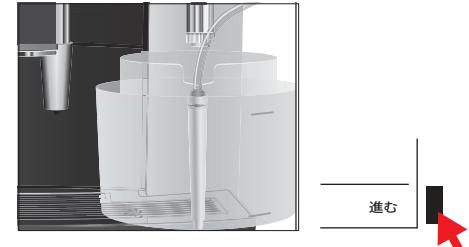
- ⑥ コンテナをフローサー
の下に配置しミルク
チューブを中央の穴に
接続し、「進む」を選択

- ⑦ 「ミルク洗浄中」
ミルクチューブから洗浄液が吸い上がり、抽出口を
通って排水がコンテナ後部に排出されます。

- ⑧ 「ミルクすすぎ用の水」
専用コンテナからミルク
チューブを外し、排水を
捨て、コンテナを水でき
れいにすすぎます。
※ヤケドにご注意ください



- ⑨ コンテナ前側部分上部の線まですすぎ用の水をいれ、
(約250ml) フローサーの下に配置してミルクチューブ
を再度中央の穴に接続、「進む」を選択します。



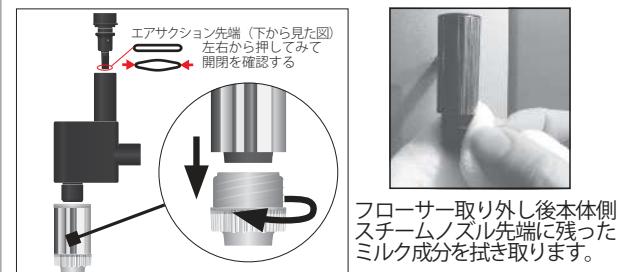
- ⑩ 「ミルクシステムをすすぎます」
すすぎの水がコンテナ後部に排出されます。
※ヤケドにご注意ください

- ⑪ 「ミルクシステムの洗浄終了」

毎日のフローサー分解洗浄



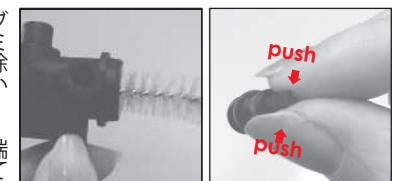
質のよいミルクフォームのために毎日分解洗浄を行います。
フローサーを本体から取り外し下図のように分解します。
(※使用直後は熱くなっているので十分に冷めてから行って下さい)



中性洗剤を使用し、ブ
ラシ等で各パーツのミ
ルク粕を完全に取り除
いた後きれいにすすい
でください。

エアサクションの先端
を左右から指で押して
みてスムーズに開閉す
るか確認、汚れている場合は洗い流して水気を拭き取ります。
汚れや張り付きでうまく開かない場合はエアサクションの交換
をご検討ください。

各パーツを元通りに組み立て、本体に取り付けます。
※組み立てを間違えるとミルクがでませんのでご注意下さい。



▶ フィルター交換

(※フィルター使用設定のお客様のみ)

表示が出たら

または

取付後 60 日

約 2 分

jura

必要なもの

専用浄軟水フィルター
クラリス
プロスマート+(プラス)



×1本

保護セロファン→
取り外して使用

クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発されたJuraコーヒーマシン専用浄軟水フィルターです。

※フィルター交換はおよそ2分かかります。

※フィルター交換は中断しないでください。

※フィルターはマシン販売店からご購入ください

販売店指定の浄水フィルターをご使用ください。

WE8-CAS用フィルター：

「クラリス プロスマート+(プラス)」または「クラリス プロスマート」

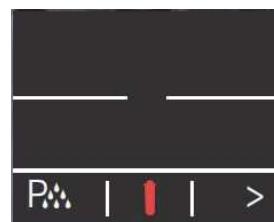
指定以外のフィルターはご使用になれません。

フィルター交換の表示（マークが赤くなる）が出ていてもメニューの抽出はできますが、浄水能力のない状態でのご使用はマシン内部部品を傷めますのでなるべく早く交換をして下さい。

※交換のサインが出ていなくても60日が経過したら交換をして下さい

交換時期

ディスプレイのフィルターマークが赤く点灯している
またはフィルターをセットしてから60日が経過している。

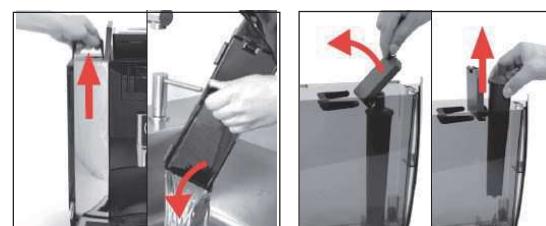


手順

① フローサーの下に排水受を用意します。



② 水タンクを取り外して中の水を捨て、おさえ板を持ち上げフィルターを引き上げて外します。



③ 新しいフィルターを取り付けておさえ板で固定、タンクに水を満たして本体に戻します。
マシンが自動的に新フィルターを検出します。画面の案内に従ってフィルターのすすぎを行います。



ディスプレイ下部中央のフィルターマークが青に変わり交換完了です。

ご注意

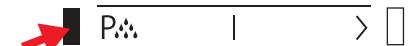
フィルター交換の表示が出てから、交換作業をせずにご使用水量が10ℓを超えると自動的にCA除去の設定に変わります。CA除去設定でのご使用を続け、CA除去サインが出た場合はCA除去作業を行わないとフィルター設定に戻すことができません。

サインが出ていてもコーヒー類の抽出はできますが、その他の作業（洗浄等）ができなくなります。早めにCA除去を行ってください。

フィルター使用設定への戻し方

1.

「CA除去してください」



2. 「水タンクからフィルターを取り出してください」
左項②を参照し、フィルターを外し水タンクを元に戻します。

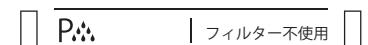
3. 「排水トレイを空にして下さい」

ここからはP12「CA除去」の手順④～⑪を参照して作業をすすめてください。

4.

「フィルター使用」

フィルターを取り付けてください



左項③を参照してフィルターを取り付け、水タンクに水を満たして本体に戻し、画面の指示に従ってフィルターのすすぎを行います。ディスプレイ下部中央のフィルターマークが青に変わり設定完了です。

フィルター交換、CA除去、いずれの場合も
サインがでたら早めに作業をおこなってください。

►CA除去(カルシウム除去)

表示が出たら



約40分 (※クラリスフィルターをご使用でないお客様)

jura

必要なもの

CA除去剤 ×3錠

水 ×500ml
(正確に計る)

排水受

×水タンクに
半分以上

ご使用する水に含まれるカルシウム成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。

最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的にCA(カルシウム)除去洗浄を促します。

※CA除去はおよそ40分かかります。

※CA除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。

※専用除去剤はマシン販売店からご購入ください。

ご注意

※販売店指定のカルシウム除去剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、残留物が飲料に混入する恐れやマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。

※カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

警告

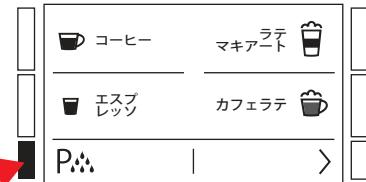
カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。

目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

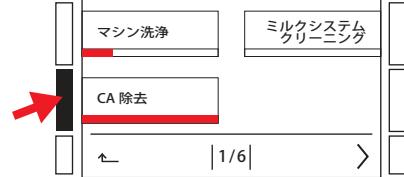
手順

「CA除去」あるいは「今すぐ要CA除去」の表示が出ている

①



②

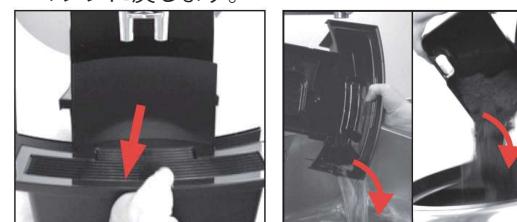


③

画面に従い「スタート」、「進む」を選択

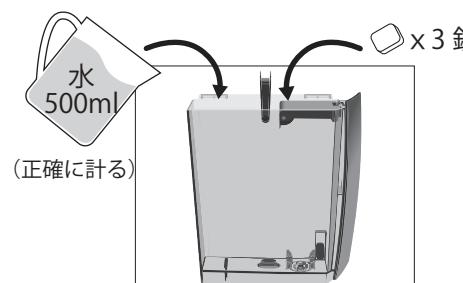
④

「ドリップトレイを空にして下さい」
ドリップトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

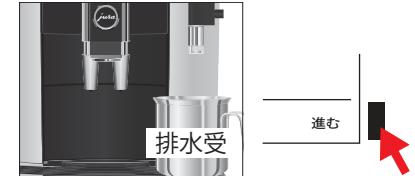


⑤

水タンクをマシンから外し、正確に計った水500mlとカルシウム除去剤を3個入れ、充分に溶かします。



⑥ 除去剤が溶けたら水タンクをマシンにセットします。
フローサーの下に排水受を用意して「進む」ボタンを押します。



⑦ 「マシンCA除去中」
排水が断続的に排出されます。

⑧ 「ドリップトレイを空にしてください」
ドリップトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。

⑨ ここからすすぎに入ります。
「水タンクに水を入れてください」
水タンクを取り外し、除去剤成分が残らないようきれいにすいでください。新鮮な冷たい水で水タンクを満たし、再度マシンにセット、抽出出口とフローサーの下には排水受けを用意します。



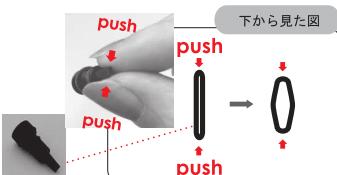
⑩ 「CA除去中です」
すぎ水が断続的に排出されます。

⑪ 「ドリップトレイを空にしてください」
ドリップトレイとコーヒーカス容器を空にして中性洗剤できれいに洗い水分を拭き取り本体に戻します。

⑫ 「CA除去が終了しました」

※停電などでCA除去プログラムが予期せず停止した場合はすぐにきれいな水で水タンクをすすぎ、「コーヒーすぎ」「ミルクすぎ」を数回繰り返して除去剤成分が内部に残らないようにします。時間ができ次第再度CA除去プログラムを実行して下さい。

►トラブルシューティング

トラブル	原因及び結果	解決方法
電源が入らない / ディスプレイが表示されない 使用中に電源が落ちてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが抜けている ◎一定時間操作がなかつたためオフタイマーが働いた ◎電気容量が不足している ◎内部のヒューズ切れ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグをご確認ください。 ◎→P15 (4/6) オフタイマー 参照 ◎同じ電源を使用している機器のプラグを外してください。電気工事店にご相談下さい。 ◎直ちに使用を中止してください。
コーヒーの出が悪い ポタボタとしか出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ◎豆の挽きが細かすぎる ◎抽出ユニット内フィルターの目詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> ◎豆の挽調整を粗くする→P08 挽目調整参照 ◎Pボタンからコーヒーすすぎを2~3回おこなって下さい。
(設定を変えていないのに) コーヒーが薄くなつた	◎豆の油分過多によるグラインダー内部粉詰まり	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源を切り、豆コンテナ内を乾いた清潔な布などで拭きとる。(水分厳禁) 豆の挽きを一番粗くして数回挽く 上記で解決しない場合はお預かり修理となります。販売代理店へご連絡下さい。
コーヒーを挽くときに異音がする グラインダーが空回りして豆を挽かない	<ul style="list-style-type: none"> ◎豆コンテナに異物が混入した ◎豆コンテナ内にコーヒーの微粉がたまっている。 ◎豆コンテナに誤って水を入れてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎電源を切り豆コンテナ内に異物があれば取り除きます。 ◎洗浄タブレット投入口を開け掃除機でグラインダー出口の粉を吸いとります。 ◎お預かり修理となります。販売代理店へご連絡下さい。
左右の抽出量が均等でない 抽出口の片側だけ出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ◎マシンの傾き ◎抽出口内部の汚れ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎設置台の水平をとって下さい。 ◎詰まっている側の抽出口を針金や伸ばしたゼムクリップのような細いもので下からやさしくついてみて下さい。何度か繰り返した後、P09 マシン洗浄を行って下さい。 それでも解消しない場合、内部で汚れが固着している可能性がありお預かり修理となります。
コーヒーがぬるい	<ul style="list-style-type: none"> ◎カップを温めていない ◎前回の抽出から時間が経っている 	<ul style="list-style-type: none"> ◎陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず 60~70°C に温めてからお使い下さい。 ◎前回の抽出から 5 分以上が経つとマシン内部が冷えるため、容量の少ないメニューでは温度に影響が出ます。50cc以下のメニューを抽出する場合は直前に P ボタンからコーヒーすすぎを 2 回行って下さい。連続使用の場合は必要ありません。
ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない ミルクを吸わない ミルクフォームが出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ◎エアサクションの汚れ・目詰まり ◎フローサーの汚れ ◎フローサーの組み立て不良 	<ul style="list-style-type: none"> ◎右図のようにエアサクションを両端から押し、口が貼りついているないか確認して下さい。汚れている場合は洗浄し、それでも改善しない場合はスペアをご注文下さい。 ◎P10 を参照し、ミルク洗浄を行ってください。ミルクのかたまりが詰まっている場合、応急措置として左図のように針金やクリップ等の細いものでスチームの出る穴をつきます。時間ができ次第分解洗浄をして下さい。 ◎フローサーの各部品がしっかりとまっているかご確認下さい。(P10 分解洗浄参照) 
カス容器が入らない 排水トレイが奥まで入らない	◎ユニットの上下動中にトレイ、カス容器を抜いてしまい内部部品とトレイがあたってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ◎カス容器だけを抜き、その他排水トレイ類を元の位置にセットし電源を OFF にします。 再度電源を ON にし、マシンが立ち上がってからトレイを抜きカス容器をセットして戻します。
排水トレイが入っているのに 「排水トレイを挿入してください」と表示される	◎トレイ裏側、部品欠損の可能性	 <ul style="list-style-type: none"> ◎トレイが破損しています。販売代理店にご発注下さい。
ERROR 2 ERROR 5	◎長時間寒い場所に放置されると安全上再加熱されなくなります。	<ul style="list-style-type: none"> ◎マシンが室温になるまでお待ち下さい。
ERROR 8	◎ユニット位置不良	<ul style="list-style-type: none"> ◎至急販売代理店にご連絡ください。 (電源を落としてプラグを抜き、数分後再び電源を入れるとしばらく使用できる場合があります。)

WE8-CAS 機能一覧

設定画面へ	画面	設定項目	選択項目	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ
Pボタン 進む↓	(1/6)	+ マシン洗浄		スタートボタンで洗浄実行	業務にご使用の場合は毎日必ず実行してください	+スタート ↑	
		+ ミルクシステムクリーニング		スタートボタンでミルクシステムクリーニング実行	電源OFF時に表示されますので毎日必ず実行してください。 (ミルク関連のボタンを使用していない場合は表示されません)	+スタート ↑	
		+ CA除去		スタートボタンでCA除去実行		+スタート ↑	
		+ フィルター		設定した水の硬度に従い交換時期を表示します	交換時期に達するとフィルターマークが赤に変わります。 マークが赤くならなくても取付から60日が経過した場合は交換をして下さい。 交換時、新品でないフィルターをセットしても反応しません。		
	(2/6)	+ ミルクすすぎ		すぐにすすぎが始まります	右側抽出口の下に排水受をご用意下さい		
		+ コーヒーすすぎ		すぐにすすぎが始まります	中央抽出口の下に排水受をご用意下さい		
		+ 情報		お薦めする日々のお手入れについて表示			
	(3/6)	+ エキスパートモード (=メニュー設定変更)	+ 容量 (コーヒー)	エスプレッソ/リストレット：15~80ml その他コーヒー：25~240ml	5mlきざみ		
		設定したいメニューのボタンを押すと変更できる項目が表示されます。 (メニューによって表示される項目・範囲が異なります)	+ 容量 (熱湯) :	25~450ml	5mlきざみ		
			+ ミルク量:	3-120秒	1秒きざみ		
			+ ポーズ:	0-60秒	ミルクのフォーム層/液層を際立たせるための一時停止時間 フラットホワイトでは設定できません。		
			+ コーヒーの濃度:	8段階	メニュー毎にコーヒーの濃さを選択できます。 2杯取は1杯取の設定と連動しています。コーヒーの味(濃さ)を揃えたい場合は1杯取を豆マーク3個以下で設定して下さい。		
			+ 温度:	低 (熱湯のみ) /中/高	コーヒー温度目安 84℃~89℃ 熱湯温度目安70℃~85℃ ※抽出口での温度		
			+ 抽出中の量変更	+ アクティブ + 非アクティブ	挽豆中・抽出中に◀▶ボタンを押してコーヒー濃度、抽出量を一時的に変更することができます。 上記操作ができないようにロックします。	挽豆中に操作すれば濃度設定変更 挽豆終了後、容量表示中に操作すれば抽出量変更 現在抽出中の1杯のみ有効、元々のメニュー設定は変更されませ	±で値を表示後 +保存 ↑
	+ 抽出量の手動調節 (=長押しで設定変更) カップサイズにあわせて見た目で抽出量を決定します。 設定量は後からエキスパートモードで確認できます。	+ アクティブ		メニューボタンを2秒以上長押し →設定変更画面に入ります。	設定したいカップを置き、ちょうど良い量になったところで再度ボタンを押します。(キャンセルボタン以外どれでも可) キャンセルボタンを押した場合と、途中でボタンを押さずに上限まで放置した場合、抽出量は変わらず元の設定のままとなります。		
		+ 非アクティブ		上記操作ができないようにロックします。			
	+ ロック有効	+ 抽出できない		ロックしたいメニューを表示させ(全6ページ)ボタンを押して設定。	ロックされたメニューはアイコンが消え ボタンを押しても「この商品は提供できません」と表示されます。		
		+ 抽出可能		鍵マーク赤=ロック、緑=ロック解除。 2杯取のロックも可能です。			

WE8-CAS 機能一覧

設定画面へ	画面	設定項目	選択項目	内容/設定範囲	備考	進行	通常画面へ
Pボタン 進む↓	(4/6)	言語の選択	独/英/仏/伊/蘭/西/ポルトガル/ロシア/スウェーデン/ポーランド/エストニア/日本語から選択	出荷時日本語設定			
		オフタイマー	自動電源OFF指定	最後の抽出から15分～9時間後	15分後、30分後、1時間後～（その後は1時間きざみ） オフタイマーを非設定にすることはできません。		↑保存 ↑L
		単位表記	液量単位	mlまたはozから選択			
		ミルクすすぎ	手動	ミルク抽出から10分後に すすぎを促す表示が出ます	ボタン操作ですすぎが始まります。		
			自動	ミルク抽出から10分後に 自動的にすすぎ			
	(5/6)	水の硬度 (INACTIVE 不可)	1dH～7dH		付属の硬度試験紙で実際に使用される水の硬度を調べて設定下さい。		
			8dH～15dH		数値が小さいほど軟水=CA除去までの間隔が長くなります。		↑保存 ↑L
			16dH～23dH	出荷時設定	※例) 変色1マスの場合 CA除去頻度を減らし手間を軽減→1° dH		
			24dH～30dH				
	(6/6)	合計抽出杯数	これまでの合計総抽出数をトータル/メニュー毎に表示				
		日毎抽出杯数	その日の総抽出数を表示：日毎抽出杯数を削除しますか？	はい/いいえ どちらか決定することで前画面に戻ります			↑
		お手入れ回数	これまでの合計お手入れ回数をプログラム毎に表示				
		バージョン	ソフトウェアのバージョン表示				



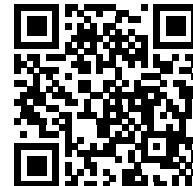
WE8 -CAS メンテナンス動画 (Youtube でご確認いただけます)

Youtube Channel
Contrasto
株式会社コントラスト

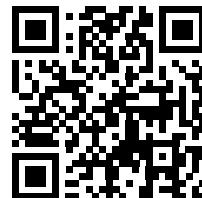


洗浄方法

ミルクシステムクリーニング

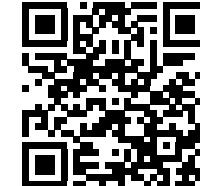


マシン洗浄



トラブルシューティング

【ミルクの泡立ちが悪い時】 フローサー分解洗浄



【ミルクが出ない時】 スチームノズル洗浄

